

科目名 日本経済論A 日本経済論B 1年
開講学期 春学期・秋学期 担当教員 山澤成康

(授業題目：日本経済論)

【授業の目的・目標】

経済のニュースを理解するにはある程度の基礎知識が必要です。そこでこの授業では、日本経済の歩み、財務省や日本銀行の仕事内容、企業やサラリーマンの役割などさまざまな分野の基本的な知識を説明し、皆さんに理解してもらうようにします。興味を持って新聞が読めるようになることが目標です。

【授業の内容】

毎回最近起こった出来事について解説します。新聞やテレビのニュースも積極的に採り入れるつもりです。一方で、テキストに沿った体系的な授業もします。

【授業の運営方法】

最近のトピックス約 30 分、テキストに沿った体系的な授業を約 1 時間の割合にします。

【評価方法】

春学期：期末テストで評価します。授業中に数回アンケートをしますが、成績には考慮しません。

<テキスト>

春学期：金森久雄・香西泰・大守隆『日本経済読本 第15版』(東洋経済新報社)

秋学期：内閣府『経済財政白書 2001年版』

【その他、受講生への注意事項】

ほかの学生の迷惑になるので私語は禁止します。質問は歓迎します。
新聞に目を通す習慣をつけると授業の理解が進みます。

【授業スケジュール(シラバス)】

春学期

- 1 序論
- 2 日本経済の歩み(1)
- 3 日本経済の歩み(2)
- 4 景気が良い時、悪い時
- 5 政府が日本経済に果たす役割
- 6 財務省の仕事
- 7 日本銀行の仕事
- 8 企業の役割
- 9 サラリーマンの役割
- 10 生活環境と物価の動き
- 11 エネルギーについて
- 12 東京と地方の違い
- 13 輸出入と為替レート
- 14 世界経済の動向と日本の役割
- 15 予備日

秋学期

「経済財政白書 2001」をテキストにして、毎回一つのトピックスについて講義します。トピックスについては以下のようなものを採り上げますが、経済動向次第で内容は変わります。確定したものは最初の授業に配ります。

- 1 IT革命とは？
- 2 高齢化が日本経済に与える影響
- 3 環境問題について考える
- 4 不良債権はなぜ問題か
- 5 進むグローバル化
- 6 失業はなぜなくなるのか
- 7 教育問題について考える
- 8 民営化や規制緩和の動き
- 9 デフレとは何か？
- 10 景気の先行きを占う
- 11 深刻な財政赤字
- 12 地方財政も危ない
- 13 日本とアジアの関係
- 14 アメリカ経済のゆくえ
- 15 予備日